

日頃より皆さまには、北陸労働金庫に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、2024年1月に発生した令和6年能登半島地震において大変多くの方々が被災されました。まずは、お亡くなりになられた方々に心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての方々にお見舞い申し上げます。弊庫におきましても、被災された方々の状況に応じて丁寧な対応を行い、一日も早い復興支援に努めていきます。

わが国の経済は、新型コロナウイルス感染禍の3年間を乗り越え正常化しつつあります。いま、30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など経済に前向きな動きが見られ、デフレから脱却し経済の新たなステージに移行するチャンスを迎えています。

また、北陸においては金沢から敦賀まで新幹線が延伸になるなど明るい話題も聞かれ、北陸圏内の経済の活性化に繋がるものと期待するところです。一方、世界的な円安基調やロシアのウクライナ軍事侵攻の長期化による資源・エネルギー価格の高騰により、賃金上昇は物価上昇に追いついておらず、勤労者の家計に大きな負担を強いている状況が続いています。

弊庫を取り巻く環境は、少子高齢化・人口減少の加速と、転職や定年延長そしてデジタル技術の急速な進展も見られ、経営基盤の強化とともに大きく変化していく環境への対応を求められた一年となりました。また、日本銀行の金融緩和政策も転換期を迎え、マイナス金利が解除となり今後の為替相場や金利上昇局面に注視していく必要があります。



2024年度は第8期中期計画の中間年度として、ビジョンとして掲げた、「はたらくひとの笑顔をつなぐ“ろうきん”未来につながる“ろうきん”」を実現していくため、事業計画に基づき取り組みを進めます。「生活応援運動」を中心に、勤労者の生活設計支援・可処分所得向上運動を展開するとともに、働く人のライフステージに合わせた資産形成を支援し、生涯取引の推進を図ります。また、サステナブル社会への貢献に取り組み、「ろうきん運動」の実践を通じた社会貢献活動の展開とSDGs活動の発信強化に努めていきます。

今後も、弊庫は勤労者のための協同組織金融機関として使命を果たし、役割が発揮できるよう努めていきます。皆さまには今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2024年7月

理事長 辻 政光

当金庫の概況

(2024年3月末現在)

名称	北陸労働金庫
所在地	石川県金沢市芳斉2-15-18
設立	1954年5月1日 (2001年10月1日合併し、北陸労働金庫発足)
店舗数	25店舗(富山県8、石川県10、福井県7)
常勤役員数	475人
団体会員数	1,712会員
間接構成員数	382,722人
出資金	40億3百万円
預金残高	8,265億88百万円
貸出金残高	5,009億93百万円

全国ろうきんの概況

(2024年3月末現在)

金庫数	13金庫
店舗数	596店舗
常勤役員数	11,093人
会員数	100,926会員(うち団体会員数47,759会員)
間接構成員数	11,945,542人
出資金	968億83百万円
預金残高	22兆848億円
貸出金残高	15兆5,716億円